

～香りの植物見学記(19)～

ラベンダーの香りを求め、河口湖ハーブフェスティバルに行ってきました。



富士のふもとに、香りがふわり

河口湖ハーブフェスティバルは、毎年ラベンダーの開花期に、湖畔の大石公園で開かれるイベントです。わたしも、7月半ばに訪ねてきました。

着くまではどの程度咲いているか心配でしたが、バスを降りると、一面に紫色が広がっていました。

日本一映えるアロマ・スポット

こちらの魅力は、富士山&河口湖を背景に、ラベンダーを楽しめること。こんなに写真映えるハーブ園ははじめてです。なのに、この日は富士山が下半分しか見えませんでした。ガイドさんによると、山頂まで見える日は、年間38日しかないそうです。



絵葉書のように咲きそろう

わたしが訪ねたときは、ラバンジンという品種のラベンダーが咲いていました。ラバンジンにはカンファーの成分が含まれて、涼しげな香りが魅力です。こちらの公園では、すべての株の背丈がそろい、きれいに剪定されていました。

ユリの強さにおどろく

花壇ではユリも見かけました。ラベンダーと比べると数はずっと少ないのですが、あたりに甘い香りを放っています。余談ですが、ユリはこれほど香るにも関わらず、精油を見たことがありません。採油率は、香りの強さに比例するとは限らないのです。



大自然とともに、いただきます

売店に寄ると、ラベンダーソフトをを求める人が、長い列をつくっています。私も外国人観光客の方々に混じり、慌てて並びました。何とか手に入れ、公園のデッキでいただきました。富士山をながめながら、ラベンダーの風味を味わうのはとてもいい気分です。

夏季休業のお知らせ

8/4(日)~7(水)

ご不便をおかけしますが、
よろしくお願い致します。

おすすめアロマグッズ No.127



アラウ。(ラベンダー&スペアミント)
東京サラヤ

ハーブが香る洗濯用の液体石けんです。ラベンダーのフローラルな香りがメインで、その奥にスペアミントのさわやかさも感じられます。

香料は天然の精油のみですが、思った以上にしっかりと香りました。洗濯機を回しているときはもちろん、干しているときやたたんでいるときも、ほのかな香りに包まれます。

編集後記

メイン記事でご紹介の河口湖ハーブフェスティバル、今回、バスツアーを利用しました。内容は、河口湖でラベンダーを見たあと、鳴沢氷穴→ワイナリー→桃狩りと巡り、新宿に戻って解散というものです。

当初、バスツアーには思い込みがあり、参加をためらっていましたが、目的地までピンポイントで連れて行ってもらえるのは、想像以上に快適でした。

それに、目的以外の場所も、行ってみれば、自分の枠が広がりのいい経験になります。またバスツアーを利用して、香りの名所に行ってみたいと思いました。